

技術士包装物流会関西支部 福喜多俊夫

＜中国 EV 情報 70＞では 2016 年 7 月に入手した中国政府諸部門やマスコミからの新エネルギー車、EV 情報を記載します。

1. 大学生作「EV レーシングカー」、中国代表で国際レースに参加

広西科技大学鹿山学院で 6 月 28 日に開催されたレーシングカー発表会で、同校の「LS RACING」チームのメンバー 130 人が半年近くを費やし自主開発した 4 輪の新レーシングカーが正式に登場、ロードパフォーマンスを行なった。そのうちの EV レーシングカーは今年 8 月にドイツで開催される「ドイツ大学生フォーミュラカーコンテスト」に中国代表として参加する予定だ。LS RACING チームはかつて中国大学生フォーミュラカーコンテストで優勝しており、中国で唯一の代表チームとしてドイツに出陣する予定だ。中国新聞網が伝えた。(人民網 6 月 29 日)

2. 中国北汽集団の自動運転車が実用化へ前進

中国北汽集団の自動運転車実用化が正式に実施段階に入った。同社の新技術研究院と遼寧省盤錦市大窪区政府は昨日北京で自動運転車戦略的協力協定の調印式を開いた。双方は「紅海灘国家風景回廊」で自動運転体験プロジェクトを共同開発・建設する。同プロジェクトは同観光地内で 22 キロメートルの閉鎖エリアを作り、自動運転車で各スポット間を結ぶ。同プロジェクトでは同社の完成された 3 モデルの車種（いずれも電気自動車）を使用し、自動運転技術を搭載。ハンドルは取り付けず、時速は 30 キロ以下。第 1 陣は 20 台で、最終的に約 50 台まで増やす予定だ。観光客はチケットを購入し、サイズと車種の異なる自動運転車に乗り自然の風景を楽しむことができる。(人民網 7 月 7 日)

3. 奇瑞汽車に第二世代自動運転車が登場

中国自動車メーカー・奇瑞汽車が開発した第 2 世代自動運転車が、先ほど開催された「第 12 次五カ年計画 (2011-15 年)」科学技術成果展で脚光を浴び、好評を博した。同車は「新エネ+スマート+インターネット」を基本方針とし、測位や高精度地図、インターネット技術により自動運転車の管理と運営を実現し、ユーザーに「ポイント・ツー・ポイント」の外出サービスを提供する。その機能には車線維持や能動的障害物回避、車線変更・追い越し、交通標識の識別、歩行者の識別、自動緊急ブレーキ、自動発車・停車、時速 50 キロ以下の自動運転などが含まれる。奇瑞汽車は 2016 年 12 月に烏鎮で開かれるインターネット大会に、新エネスマート車 20 台を提供する計画だ。人民日報が伝えた。(人民網 7 月 11 日)

4. サムソン、BYD に接近 EV 用半導体供給

韓国のサムソン電子は 15 日、中国自動車大手の比亞迪 (BYD) に出資すると発表した。出資比率や投資額はまだ決まっていないが、韓国紙は 30 億元(約 480 億円)程度で 2% の持ち分を確保するとの見通しを報じた。電気自動車 (EV) などのエコカーで中国市場をけん引する BYD に接近するサムソン。背景には車載用半導体など自動車部品事業が軌道に乗っていない危機感がある。車載用電池の販促に向け、中国政府の指定を受けたいのではとの見方もある。(日経 7 月 16 日)

以上